平成２９年度　　野洲高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・授業規律の確立に努め、学習習慣の定着を図る。
・規範意識の確立に努め、自己指導力の向上を図る。
・学校の教育方針や教育活動等の情報発信に努め、保護者や地域の理解と信頼を増進する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	教職員が一致協力して、円滑に校務を運営する体制づくりに努めている。	A	A	A
	地域社会との連携を密にして、教育活動の効果を高めている。	A	B	A
2　学習指導	指導内容の精選を図り、「わかる授業」「達成感のある授業」の創造に努めている。	A	B	B
	授業規律の確立に努め、個に応じた学習指導により、基礎学力の定着を図っている。	A	B	B
3　生徒指導	規範意識の確立および授業規律の確立に重点的に取り組んでいる。	A	B	B
	基本的な生活習慣の確立に生徒一人ひとりが主体的に取り組むよう努めている。	A	B	B
	常に生徒の変化に気付くことに留意し、いじめのない学校づくりに努めている。	A	B	A
4　進路指導	情報提供や個別相談の体制を整え、生徒一人ひとりの進路実現に努めている。	A	A	A
	ＨＲ等における進路指導の充実を図り、生徒の自主性・自己理解の能力を養っている。	A	B	B
5　特別活動等	学校行事や部活動等の意義や目的を家庭や地域へ十分説明し、理解を得られるように努めている。	A	B	B
	生徒の実態や発達段階に配慮したＨＲ計画・学校行事の設定を適切に行っている。	A	B	B
6　学校図書館	生徒図書委員会の組織を確立し、読書意欲を高め読書力を身につけさせるよう努力している。	B	B	B
	教科・科目、学校行事等で学校図書館が活用されるよう努めている。	B	B	B
7　保健・安全指導	定期健康診断をもとに生徒の健康状態を把握し、保健衛生活動の推進を図っている。	A	B	A
	生徒の病気、怪我等への対応の体制を整え、適切に実施している。	A	A	A
8　人権教育	ぬくもりのある仲間づくりに努め、反差別・人権尊重の実践的態度を育成している。	A	B	A
	人権意識の高揚と生活習慣の確立をめざし、ぬくもりのある学校づくりを推進している。	A	B	A
9　環境教育	体験的学習や日常の清掃活動等を通じて、環境に対する意識の高揚に努めている。	B	B	B
	ゴミの分別や減量化などの環境整備に努めている。	A	B	B
10　事務・管理	施設・用具の安全使用、安全点検、安全管理の徹底を図っている。	A	B	B
	学校の保有する情報の管理や処理の適切な実施に努めている。	A	B	A
11　その他 学校の取組み	保護者と協力した事業を多く取り入れるなど、ＰＴＡ活動に積極的に取り組んでいる。	A	B	A
	学校評議員による意見を参考に、保護者や地域との連携をはかり学校運営を進めている。	A	B	B

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準は、肯定的な評価が75%以上をＡ、50%以上75%までをＢ、25%以上50%までをＣ、25%未満をＤとする。

学校のＵＲＬ：http://www.yasu-h.shiga-ec.ed.jp/